

平成 29 年 1 月 20 日

各 位

ゲンダイエージェンシー株式会社
代表取締役 CEO 山本 正卓
(コード番号: 2411)
問い合わせ先 取締役 CFO 高 秀一
TEL 03-5308-9888(代表)

平成 29 年 3 月期業績予想の修正に関するお知らせ

当第 3 四半期連結累計期間における業績の進捗を勘案し、新たに業績予想の見直しを行った結果、平成 28 年 4 月 15 日付「平成 28 年 3 月期決算短信 [日本基準] (連結)」にて発表いたしました平成 29 年 3 月期の連結業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

平成 29 年 3 月期連結業績予想の修正 (平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円
前回発表予想 (A) (平成 28 年 4 月 15 日発表)	14,600	1,040	1,040	700	44.59
今回修正予想 (B)	15,800	1,320	1,320	900	58.96
増減額 (B-A)	1,200	280	280	200	
増減率 (%)	8.2	26.9	26.9	28.6	
(参考) 前年同期 (平成 28 年 3 月期) 実績	16,919	1,142	1,129	490	31.22

(修正の理由)

売上高については、広告事業において前回発表予想比で+1,200 百万円増加する見込みであります。

当第 3 四半期連結累計期間のパチンコホール広告市場につきましては、当期初時点においては、パチンコホールの収益性悪化により、コストダウンの圧力が強まる結果、経常的な広告需要は減少し、さらには、本年 5 月の伊勢志摩サミット開催に関連して全国のパチンコホールにおいて新台入替自粛が行われる結果、単月の入替広告需要も大幅に減少するものと予想しておりました。当社グループでは、こうした予想を踏まえ、新規大手顧客の開拓やインターネットメディアの拡販、パチンコホール業界以外の異業種向けプリンティング事業の営業強化等に精力的に取り組んだ結果、受注の減少を最小限に食い止めることができました。

さらに、第 2 四半期以降においても、大手顧客を中心とする広告需要は引き続き低調であったものの、12 月の需要期における受注の最大化の取組みの奏功や、自社メディアである「パチ 7」等の販売が堅調に推移したこともあり、収益面の底上げに寄与しました。

これらの結果、売上高は前回発表予想比で増加する見込みであります。

また、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、主として広告事業における売上高の増加に伴うマージンの増加により、それぞれ前回発表予想比で増加する見込みであります。

(注) 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上